

まずは松下選手。
相手は前回デフリンピックダブルス準優勝の選手を破ったロシアの新鋭。
鋭いサーブと粘りのストロークそして荒いアタックというタイプの選手。



松下選手も動きはミックス程悪くありませんでしたが、相手の調子が抜群でした。
もっとミスをするかと思ったストロークは丁寧かつ安定のあるアタックで攻めてきました。
松下選手も必死で喰らいつき、相手のミスが始まるきっかけを必死で作ります。
しかし、そこを今日のロシア選手はしっかり仕留めてきます。情報を上回るプレーを松下選手に見せ付けます。それでも松下選手にやれることは一つしかありません。しっかり、深く弾むボールを返して行きます。しかし、ロシア選手は最後まで崩れることはありませんでした。
スコアは残念でしたが最後まで喰らいつくは80%はできていたかな。

スコア 1-6 0-6

PANYUSHKIN Egor Alexandrovich

(RUS)



芦野選手はイギリスの選手。
前回のデフリンピック台北では4位で今回第5シード。
左利きのビッグサーバーです。
最初は緊張している部分もありましたが、相手はストロークがあまり上手ではなかったのがキープをする事が早々に出来ました。キープをしてから落ち着きを取り戻しプレーをしっかりと出来るようになって来ました。
問題があったとすればブレイクが出来なかったこと。
ビッグサーブとボレーでポイントを積み重ねる選手に対して、ブレイクする方法を探して実行はするものの効果的ではなかったりミスだったりブレイクするまでには至りませんでした。

スコア 2-6 3-6

FLETCHER Lewis Gordon

(GBR)